

創刊号
2009.4月

きずな

発行者：湘南記念病院 広報委員会
〒248-0027 鎌倉市笛田2-2-60
TEL.0467-32-3456
FAX.0467-32-6363
<http://www.syonankinenhp.or.jp>
E-mail : info@syonankinenhp.or.jp

広報誌『きずな』復活によせて



医療法人 湘和会
理事長 鈴木 秀夫

湘南記念病院では、開設当初より地域医療の貢献を目指し、地域の方々に業務の内容を知って御利用していただくために『きずな』と題する広報誌を定期的に発行しておりましたが、その発行が中断し、皆様とのコ

ミュニケーションが不十分となり、ご迷惑をおかけすることもあったのではないかと、心からお詫び申し上げます。

この度、病院の内容も刷新して充実をはかり、更に地域の方々のお役に立てればと増築を行いました。

この機会に再びこの広報誌をインフォメーションとしてお役に立ちたく『きずな』を復活させることとなりました。

どうぞよろしくお願いいたします。

本当の地域医療とは



医療法人 湘和会
湘南記念病院
院長 井上 俊夫

地域医療を担う病院の特徴は、とにかく身近にあり親しみやすいという点です。最近の傾向として、患者さんの医療に対する情報公開の要求や医療の質に対する要求が高まっております。その為専門病院への患者さんの集中化は拍車がかかってお

ります。その混雑度のため予約が取れない、手術は2～3ヶ月先、遠いところを通過して外来受診は一日がかりでヘトヘト。また医師も多忙なため十分に説明する時間もないという事態になっております。湘南記念病院では、単に近いというだけでなく、中央の大学病院やがんセンターなどに負けない最新最高の医療を目指しております。

整形外科は、大学病院なみの高度な手術をこなし、内科も内視鏡の専門医をそろえております。

特に平成21年2月には「かまくら乳がん甲状腺センター」を増築しスタートさせました。元横浜医療センターの土井卓子医師を中心に最新の乳がん治療を致しております。特徴は、横浜市大医学部の協力のもと術中迅速診断^(注1)が出来る病理検査室を開設し、手術中に転移しやすい脇の下の

センチネルリンパ節^(注2)という一番手前のリンパ節の転移の有無を判断し、転移が無ければ必要の無いリンパ節を切除せずに5cmぐらいの最小の傷で手術をすませます。もちろん乳房と乳頭は残り乳房の変形もごくわずかです。最新式のMRI装置を導入し、脳梗塞の診断はもとより微小石灰化より乳がんを生検するマントーム装置と共にしこりとして手に触れない微小乳がんの診断に役立てております。乳がんの化学療法もセンター内に専用のリクライニングシートを備えた化学療法室で行っております。外来診察は予約制で手術も年間200例以上のペースです。

再発やターミナルケアも積極的に受け入れて緻密で温かな対応を心がけ患者さんの体と心が癒され満足していただける治療を目標にしております。

とかく大病院中心の最近の医療の傾向に地方の小病院として日本一の乳がん治療の出来る病院として、また患者さんに感謝していただける心に残る病院を目指して進歩発展させて行きたいと思っております。

(注1) 手術中に病変部(腫瘍)の性質が良性か悪性かなどを調べたり、病変部の取り残しがないかなどについて病理医が診断します。

(注2) 腫瘍から悪性細胞が最初に到達すると思われるリンパ節をセンチネル(見張り)リンパ節と呼んでいます。

特集

新棟増築・既存棟改築 工事のお知らせ

湘南記念病院は昨年開院20周年を迎え、これを機に病院をリニューアルすることとなり昨年より工事をおこなっており、皆様には、大変ご迷惑・ご不便をおかけしております。

2月には、増築棟が完成し、1階に『かまくら乳がん甲状腺センター』『リハビリテーション科』が既に稼動しております。今月の特集では、その2部門を紹介いたします。



かまくら乳がん甲状腺センター



センター長
土井 卓子

毎年4万人の方、日本女性の20人に1人が乳癌にかかる時代になりました。早期発見をして根治すること、最善の治療をすることが、何より大切です。

湘南記念病院では最新のデジタルマンモグラフィと3次元画像も構築できる精度の高い超音波装置、触れないような小さな病変も確実に採取可能なマンモトームを導入した乳腺センターを開設しました。細胞診、針生検、マンモトームを用いて癌か良性かの診断を専門に行っています。乳癌と診断された場合、MDCT、MRIも組み合わせ病変の広がりを実際に判断し、蛍光カメラと色素によるセンチネルリンパ節採取と専門病理医師による術中迅速診断を行うことにより、最小の切除で最大の根治を目指しています。乳房温存術が不向きで乳房切除が必要な場合は形成外科と協力し乳房再建術も行っています。標準療法ではありませんが切除を希望されない方にはラジオ波治療もご相談にのっています。

手術後は化学療法、ホルモン療法、経過観察が必要ですが、診察室の向かいに専用の外来化学療法室を



- 設置しました。安全に快適に化学療法が受けられるよう工夫しています。
- 外来では専門の医師、技師、薬剤師、乳癌体験者の相談員、ナース、クラーク、(管理)栄養士がチームを組み、全員で患者様を支えることを目標にしています。

- 診察室の隣に専門知識を備えた体験者が相談室を開設し、治療を受ける側の立場から受診者の相談にのっています。治療方法、薬から生活のケアまで数多くの参考図書、パンフレットをそろえておりますので、お茶を飲みながらご本人もご家族も自由にお話をしていただきます。リンパ浮腫予防のマッサージ機もあります。インターネットでの情報検索、患者会の情報、補正下着の対応も行いますのでお立ち寄りください。通常の外来以外に、治療中の方と毛糸帽子を編みながらのおしゃべり会、栄養士が工夫した化学療法中に食べやすい料理の試食会、術後の体操教室など医療者も白衣を脱いで一人の女性として受診者の方々と向き合っている企画を行っています。

- 不安をなくし、納得して帰宅していただけること、安心して快適に治療を受けていただけること、乳腺・甲状腺疾患について情報発信の場所になれること、治療中の生活上困ることの相談の場になれることを目指しています。



リハビリテーション科



リハビリテーション科
科長 北浦 豪一

リハビリテーション科は整形外科（骨折後や骨折手術後）・内科、外科的疾患後の臥床による廃用症候群・脳卒中の方を中心に、動作能力やADLの獲得を目指してリハビリを実施しております。

退院後においても、リハビリの必要性がある患者様に対しては、外来リハビリや訪問リハビリを実施し、在宅での生活をサポートしております。

リハビリスタッフは現在、総勢12名体制で日々の業務に取り組んでおります。

当院では、入院中のリハビリ～外来リハビリ、訪問リハビリを実施しておりますが、入院後短期集中的にリハビリを行い、在宅復帰を目指したいという考えから『回復期リハビリテーション病棟』がもう間もなく新たに開設いたします。

開設に伴い、新しいリハビリテーション室（平成21年2月

- 9日より）と、今後リハビリスタッフを約20名体制（理学療法士＝PT・作業療法士＝OT・言語聴覚士＝ST）としていきます。

- リハビリテーション機器におきましても、早期の座位・立ち上がり・歩行の獲得を目指すための最新の機器を取り入れて充実を図っております。

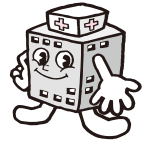
- 今後は、入院中や退院後に多職種との連携を強めて早期の回復を目指し、地域に根ざしたリハビリを展開していけるように努力していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。





部門紹介

当院の各部署・部門を紹介します。



整形外科

湘南記念病院の整形外科は、常勤医師3名と、非常勤医師4名で、月～土曜日の毎日午前・午後の外来診療を行っております。また、週2～4日の手術日を設けています。手術は年間、約400例です。

骨折の手術（プレート・ネイル・人工骨頭）、人工関節置換術（膝・股・肘）、矯正骨切り術（膝・足など）、ヘルニア切除術、手の外科手術（腱・神経）、脊椎脊髄手術、関節鏡手術など、幅広く対応しております。



池上 亮介
副院長・整形外科医長
《専門・得意分野》
人工関節・上肢外科



斉藤 浩哉
常勤医師
《専門・得意分野》
膝関節・リウマチ



片山 英昭
常勤医師
《専門・得意分野》
肩関節

外来診療は、骨折、靱帯・腱損傷などの外傷、変形性関節症などの変性疾患（加齢や外傷後の変化による）、リウマチ、痛風、腱鞘炎、五十肩などの炎症性疾患、骨・軟部腫瘍、椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症などの脊椎疾患、高齢者の骨粗しょう症等、幅広く治療しています。

当院では、リハビリを手術後の早期から行うとともに、回復期リハビリ病棟での機能改善を目指します。

澤崎 進一
非常勤医師
《専門・得意分野》膝関節・膝関節内視鏡手術
ACL再建等

吉松 千晶
非常勤医師
《専門・得意分野》膝関節・リウマチ

漆原 信夫
非常勤医師
《専門・得意分野》脊椎脊髄外科



内視鏡部門

内視鏡担当医師 天本 治己・津川 周三・佐伯 知行・鈴木 博昭・兒玉 達樹

湘南記念病院における上部内視鏡（胃カメラ）、下部内視鏡（大腸ファイバー）の実績は年間2,000件以上です。

その全てを経験豊富な専門医師が施行し、随時2人以上の内視鏡担当の看護師がサポートすることによって、安全かつ適確な内視鏡検査を実施しています。

現在、内視鏡検査で見つけることができる消化器疾患のほとんどが早期発見、早期治療すれば、大きな治療（開腹手術等）をせず治すことが可能です。

しかし、多くの患者様は内視鏡検査と聞いて苦痛を伴う大変な検査と思われるっており敬遠されているのが現状です。

そのため、当院では検査前に患者様に内視鏡検査についてよく説明し、その患者様にあった少量の鎮痛剤、鎮静剤を投与することなどによって、苦痛の無い内視鏡検査を心がけています。

（患者様からは“もう終わったの” “（検査していることが）全

然わからなかった”等の声も聞かれ、定期的に検査を施行する方もおられます。

また、専用の内視鏡室にて最新の内視鏡、洗浄器等を使用することによって常に清潔な状態かつ安全に検査を行っています。

そして検査終了後、一人一人の患者様に内視鏡検査の結果を説明し、治療が必要な場合は、医師が適切な対応をするようにしております。

どうぞお気軽に来院し、内視鏡検査、内視鏡治療等について何でも相談してみてください。



健康コラム

胃炎とは

胃炎は、胃の粘膜が炎症を起こしている病気です。粘膜だけではなくその下の組織まで欠損が及んだ場合を潰瘍と呼びます。胃炎の場合の粘膜状態はさまざま、実際にキズとして認識できるものから、色の変化だけのもの、萎縮が生じたものがあり、それらが混ざりあっているものもあります。胃炎の症状にも個人差があり、激しく痛みを感じる人もいれば、これといった症状のない人もいます。日本人の慢性胃炎の大部分は、ピロリ菌がその原因と考えられており、胃の粘膜に長引く異変が生じたものです。

ピロリ菌（*Helicobacter pylori* ヘルコバクター・ピロリ）とは

ピロリ菌は胃の粘液内、粘液と粘膜の間に生息しています。ウレアーゼという酵素をもち、胃粘液中の尿素をアンモニアに分解します。このアンモニアは活性酸素と反応し、強い毒性を持つ物質に変化し、胃壁を傷つけます。これらのピロリ菌による胃粘膜障害が、胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃がんに関係していると考えられています。

外来診療担当医表

(4月1日現在)

《受付時間》

午前：8時00分～12時00分

午後：13時00分～16時00分

《診察時間》

午前：9時00分～12時00分

午後：13時30分～16時30分

※ご注意：担当医師の変更や臨時休診になる場合がありますので、電話でお確かめのうえ、ご来院いただきますようお願い申し上げます

		月	火	水	木	金	土
内科	AM	国 香	中 山	国 香	井 口	渋谷	天 本
		小 田	小 田	小 田	中 村	佐伯(明)	小 田
		渡 辺	高 谷	津 川	渡 辺	津 川	渡 辺
	PM	高 谷	小 田	小 田	国 香	高 谷	小 田
		渡 辺	国 香	天 本	渡 辺	渋谷	渡 辺
甲状腺 内分泌 内科	AM						高木1週
	PM						高木1週
外科	AM	佐伯(知)	井 上	井 上	佐伯(知)	井 上	井 上
	PM	佐 藤	佐伯(知)	児 玉	佐 藤	佐藤・佐伯	鈴木2.4週 佐藤1.3.5週
乳腺 外科 (予約)	AM	土 井	土 井		鬼 頭	土 井	
		稲 垣	稲 垣			稲 垣	
	PM		土 井	土 井	鬼 頭	土 井	
			稲 垣	稲 垣		稲 垣	
整形外科	AM	池 上	田 中	池 上	漆 原	吉 松	池 上
		斉 藤	片 山	斉 藤	斉 藤	片 山	片 山
	PM	澤 崎	田 中	斉 藤	漆原2.4週 池上1.3.5週	吉 松	片 山
形成 外科	AM		田 中				田 中
	PM		田 中			田 中	田 中
婦人科	AM	秦	秦		秦	秦	秦
	PM	秦	秦		秦	秦	秦
眼科	AM	飯野1.2.4週 佐野3週	高 橋	飯 野	飯野2.4.5週 高橋1.3週	飯 野	飯野1週 山崎2.3週
	PM	飯 野	高 橋	飯 野	飯野2.4週	飯 野	
脳外	AM			郭			
泌尿 器科	AM				築 田		
	PM				築 田		
皮膚科	AM				二 木		
	PM				二 木		
呼吸 器科	AM			児 玉			
	PM			児 玉			
放射 線科	AM	黒 木	福 島	黒 木		黒 木	黒 木
	PM	黒 木		黒 木		黒 木	黒 木
内視鏡	AM	GF津川	GF天本	CF佐伯	GF鈴木	GF佐伯	GF津川
	PM	CF天本	CF児玉	CF児玉		CF天本	

湘南記念病院グループクリニック

◆◆ 湘南記念小坪クリニック ◆◆

院長：田嶋 博雄

249-0008 逗子市小坪3-2-1

TEL：0467-60-0321

FAX：0467-60-0322

診療科：内科・外科・整形外科・眼科・リハビリテーション科・訪問診療

◆◆ 湘南記念鎌倉クリニック ◆◆

院長：石田 尚志

247-0056 鎌倉市大船2-17-10

TEL：0467-47-3189

FAX：0467-47-3161

診療科：訪問診療（内科）

◆◆ 湘南記念逗子クリニック ◆◆

院長：石田 禮載

249-0001 逗子市久木8-9-15

TEL：046-871-8216

FAX：046-871-8313

診療科：訪問診療（内科）

クリニックでは『訪問診療』を積極的に行っております。『訪問診療』の内容についてお聞きになりたい場合は、お気軽に各クリニックに直接ご連絡してみてください。



◆◆ 検診室からお知らせ ◆◆

H20年度の鎌倉市市民健診は2月で終了いたしました。

メタボリック健診1年目ということで、従来より受診期間も大幅な変更が見られ、受診者様にはご迷惑をおかけしたことお詫びいたします。

今後もスタッフ一同、気持ちよく安心して受診していただけるよう心がけてまいります。

次年度もよろしくお願いいたします。

湘南記念病院やクリニックのことをもっと詳しく知りたい場合は是非、当院のホームページをご覧ください。

⇒[http：www.syonankinenhp.ro.jp](http://www.syonankinenhp.ro.jp)



編集後記

広報誌『きずな』が復活いたしました。新たな気持ちでスタートする意味で“創刊号”としました。今後2ヶ月ごとに発行する予定です。

この『きずな』では、情報が一方通行ではなく、患者様をはじめ地域の皆様とのコミュニケーションが図れるものになりたいと考えています。

今後も『きずな』をご愛読いただきますようよろしくお願い申し上げます。

広報委員会 広報誌担当 渡辺・庄司・龍

投稿・ご意見募集

皆様が日頃病院に対して感じていらっしゃる事、ご意見、ご要望などございましたらお近のスタッフにお声を掛けて下さい。そのことを真摯に受けとめ、今後の病院作りに活かしていきたいと思っております。同時に、皆様から掲載して欲しい投稿（文章・写真・絵……内容は何でも構いません）を募集いたします。